

令和5年度 「家庭基礎」 シラバス

| | | |
|------|----------|---|
| 家庭基礎 | 単位数 | 2単位 (70時間) |
| | 学科・学年・学級 | IT科1年7組・コンピュータデザイン科1年8組 機械システム科2年1・2組/自動車工学科2年3組/電子システム科2年4・5組/ 土木工学科2年6組 |

1. 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 |
| 使用教科書、副教材等 | 東京書籍「家庭基礎」 |

2. 観点別学習状況の評価の数量化

| 評価 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|--|-----------------------------|--|
| A | 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識や技術を十分に身に付けている。 | 自分で考えて問題に取り組み、発表などを行っている | 自分で考えて、ワークシートにきちんと全て記入している。 |
| B | 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識や技術を概ね身に付けている | 教科書などを参考に、問題に取り組み、発表などしている。 | 板書されていることを見ながら、ワークシートに記入している。 |
| C | 家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識や技術を身に付けていない。 | 問題を解かないで、発表もしない。 | おしゃべりをしたり、居眠りをしたりして、ワークシートに記入していない。提出もしない。 |

3. 学習計画および評価方法等

| 学期 | 月 | 指導項目 | テーマ | 学習内容 | 時数 | 評価の観点について ○：重点とする観点 ●：記録に残す評価 | | | | | | |
|----------|----------|---------------|------------------------------------|---------------|----|-------------------------------|---|---|---|---|--|--|
| | | | | | | 内容のまとまりごとの評価規準(例)・【評価方法】 | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | | | | | | 知 | 思 | 態 | | | | |
| 1 | 4 | オリエンテーション | 家庭科の学び方 ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動 | | 1 | ○ | | | ホームプロジェクト及び学校家庭クラブの意義と実施方法について理解している。(ワークシート) | | | |
| | | | | | 1 | | ○ | | | | | |
| | | 第1章 生涯を見通す | 1 人生を展望する | ①人は生涯を通して発達する | 1 | ○ | ○ | ● | 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解しているとともに、自立した生活を営む為に必要な収集・整理を行い、生涯を通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。[ワークシート・定期テスト] | 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。[ワークシート・定期テスト] | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を充実向上を図るために実践しようとしている。[ふり返りシート] | |
| | | | | ②青年期の課題 | | | | | | | | |
| 第2章 人 | 1 人生をつくる | ①人生は意思決定の連続 | 1 | | | ● | | | | | | |
| | | ②美来予想図を描く | | | | | | | | | | |
| | | | ①「人生100年」時代を生きる | 2 | ○ | ● | ● | 生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに、家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、 | 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立 | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|----------------|--|---|---|---|--|--|---|--|---|
| | 生をつくる | ②一人で暮らす ③パートナと生きる ④子どもと暮らす・親を支える ⑤自分のライフスタイルを選ぶ | | | | 家族・家庭と社会との関わりについて理解を深めている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 男女が協力して、家族の一員として役割を果たし家庭を築くことの重要性に問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 〔ポートフォリオ〕 | | |
| 5 | 2 家族・家庭を見つける | ①家族・家庭をどう捉えるか ②社会の中の家族・家庭 ③家族と法律 | 2 | ○ | ● | | | | | |
| | 3 これからの家庭生活と社会 | ①家庭生活を担う | 1 | | ● | | | | | |
| | 第7章 衣生活をつくる | 1 被服の役割を考える | ①高校生と衣生活 ②着るとは ③被服の保健衛生的機能 ④被服の社会的機能 | 1 | ○ | ● | ● | ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。 ・被服材料・被服構成及び被服衛生についても理解しているとともに、被服の計画・管理について必要な技能を身に付けている。 〔ワークシート・作品提出・定期テスト〕 | 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・進度表・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活と健康について、問題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 〔ポートフォリオ〕 |
| | 2 被服を入手する | ①被服の入手 ②被服と表示 ③被服の材料 ④被服材料と性能 ⑤被服材料の性能と改善 | 1 | ○ | | | | | | |
| 6 | 3 被服を管理する | ①被服の手入れ ②洗剤と漂白剤の働き ③仕上げ、保管 | 1 | ○ | | | | | | |
| | 4 衣生活の文化と知恵 | ①被服の構成 ②生活文化と被服 | 1 | ○ | | | | | | |
| | 小物製作 | 小物製作 | 6 | ● | | | | | | |
| | 5 これからの衣生活 | ①被服の生産と消費 | 1 | | ● | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------|--|---------------------------------|---|---|--|---|--|---|--|--|--|
| | | | ②被服の 再資源化 | | | | | | | | | |
| 第4章 超高齢社会を共に生きる | 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 | ①少子化・高齢化の進行 | 1 | ○ | ● | 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しているとともに、生活支援に関する基本的な技能を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 〔ポートフォリオ〕 | | | | |
| | | ②ライフステージとしての高齢期 | | | | | | | | | | |
| | 2 高齢者の心身の特徴 | ①老化と成熟 ②高齢期の健康と自立 | 2 | ○ | | | | | | | | |
| 7 | 3 これからの超高齢社会 | ①高齢者の自立を支える ②高齢者と共に地域をつくる | 2 | ○ | ● | | | | | | | |
| | | 1学期定期テスト第1・2・4・7章 | | | | ● | ● | | | | | |
| | ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | ホームプロジェクトの課題を設定し、その解決方法について考える 課題を設定して解決の計画を立てる | 1 | ○ | ● | ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している 〔ワークシート〕 | 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【実践計画表・実践レポート】 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 【実践計画表・実践レポート】 | | | | |
| 2 | 9 | ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 | ホームプロジェクトの評価と改善 実践発表 振り返り | 1 | | ● | ● | ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している 〔ワークシート〕 | 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【実践計画表・実践レポート】 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------------|--------------------|-----------------|-------------|---|---|---|---|--|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | | | 【実践計画表・実践レポート】 | | |
| 1 0 | 第5章 共に生き、共に支える | 1 私たちの生活と福祉 | ①リスクに備える | 1 | ○ | ● | 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。〔ワークシート・定期テスト〕 | 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。〔ワークシート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。〔ポートフォリオ〕 | | | | | |
| | | | ②福祉の捉え方の変化 | | | | | | | | | | | |
| | | 2 社会保障の考え方 | ①社会保障とは | 1 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | ②税金や社会保険料を支払う意味 | | | | | | | | | | | |
| | | 3 共に生きる | ①共生社会を通して | 1 | ○ | | | | | | | | | |
| | | | ②家庭生活と地域福祉 | | | | | | | | | | | |
| | | 第6章 食生活を つくる | 1 食生活の課題について考える | ①青年期の食生活の課題 | 1 | | | | | ○ | ● | ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解しているとともに、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技術を身に付けている。・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解しているとともに、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。〔ワークシート・実験・実習ノート・定期テスト〕 | 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。〔ワークシート・実験・実習ノート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。〔ポートフォリオ〕 |
| | | | | ②「食べる」とは | | | | | | | | | | |
| | | | | ③食生活の課題 | | | | | | | | | | |
| | ④食生活の変化 | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 食事と栄養・食品 | | ①栄養と栄養素 | 4 | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | ②炭水化物 | | | | | | | | | | | |
| | | | ③脂質 | | | | | | | | | | | |
| | | | ④たんぱく質 | | | | | | | | | | | |
| | | | ⑤無機質 | | | | | | | | | | | |
| | | | ⑥ビタミン | | | | | | | | | | | |
| | | | ⑦その他食品 | | | | | | | | | | | |
| | 3 食生活の選択と安全 | | ①食品の選択 | 2 | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | ②食品の保存と加工 | | | | | | | | | | | |
| | | ③食品の衛生と安全 | | | | | | | | | | | | |
| | 4 生涯の健康を見通した食事計画 | ①栄養バランスの良い食事 | 2 | ○ | ● | | | | | | | | | |
| ②食事計画 | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|--------|---|---------------------------|------------------------------|---|---|---|---|--|--|---|
| 11 | | 5 調理の基礎 | ①調理法 や味付け のバラン ス | 6 | ○ | ● | | | | |
| | | | ②食事の 場面を考 えた調理 調理実習 | | | | | | | |
| | | 6 食生活の文化と 知恵 | ①日本の 食文化 | 1 | | ○ | | | | |
| | | | ②世界の 食文化 | | | | | | | |
| | | 7 これからの食生 活 | ①食料と 食料問題 | 1 | | ○ | | | | |
| | | | ②食の安 全性の確 保 | | | | | | | |
| | | | ③食をめ ぐる問題 とその対 策 | | | | | | | |
| | | ④持続可 能な食生 活を営む 力 | | | | | | | | |
| | 第 3 章 子 ど も と 共 に 育 つ | 1 命を育む | ①次世代 の育成 | 1 | | ○ | ● | 乳幼児期の心身の発達と生活、親の 役割と保育、子供を取り巻く社会環 境、子育て支援について理解してい るとともに、乳幼児と適切に関わる ための基礎的な技能を身に付けて いる。 [ワ ークシート・作品提出・定期テスト] | 子供の健やかな発達のため に親や家族及び地域や 社会の果たす役割の重要 性について問題を見いだ して課題を設定し、解決策 を構想し、実践を評価・改 善し、考察したことを根拠 に基づいて論理的に表現 するなどして課題を解決 する力を身に付けている。 [ワークシート・定期テス ト] | 様々な人々と協 働し、よりよい社 会の構築に向け て、子供の生活と 保育について、課 題の解決に主体 的に取り組んだ り、振り返って改 善したりして、地 域社会に参画し ようとするにと もに、自分や家 庭、地域の生活の 充実向上を図る ために実践しよ うとしている。 [ポートフォリ オ] |
| | | | ②青年期 の責任 | | | | | | | |
| | | | ③命の誕 生 | | | | | | | |
| | | ④母体の 健康管理 | | | | | | | | |
| | | ⑤子どもの 育つ力 | 1 | | ○ | | | | | |
| 1 2 | 2 子どもの育つ力 を知る | ①子ども の育つ力 | | | | | | | | |
| | | ②生まれ つき持っ ている能 力 | | | | | | | | |
| | | ③身体 の発達 | | | | | | | | |
| | | ④心の発 達 | | | | | | | | |
| | | ⑤子ども の遊び | | | | | | | | |
| | 3 子どもと関わる | ①子ども の発達と 保育 | 3 | ○ | ○ | | | | | |
| | | ②子ども の生活と 保育 | | | | | | | | |
| | 4 子どもの触れ合 いから学ぶ | 折り紙で 遊ぼう | 2 | ● | | | | | | |
| | 5 これからの保育 環境 | ①現代の 子育て環 境 | 2 | ○ | ● | | | | | |
| | | ②地域や 社会の関 わり | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|----------------|----------------------------|-----------------|----------------|----------------|---|---|---|---|---|---|--|--|
| | | | | ③子どもの権利と福祉 | | | | | | | | |
| | | 2学期定期テスト第5・6・3章 | | | | ● | ● | | | | | |
| 3 | 1 | 第8章 住生活をつくる | 1 住生活の変遷と住居の機能 | ①住居の機能と変化 | 1 | ○ | ○ | ● | ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 住居の機能性や快適性、住居の地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 〔ポートフォリオ〕 | |
| | | | | ②平面図を理解する | | | | | | | | |
| | | | | ③住居の計画 | | | | | | | | |
| | | | | ④誰もが住みやすい住居とまち | | | | | | | | |
| | | 2 安全で快適な住生活の計画 | ①住居の防災 | 1 | ○ | ○ | | | | | | |
| | ②健康な住生活 | | | | | | | | | | | |
| | | 3 住生活の文化と知恵 | ①伝統的な日本の住居 | 1 | | ○ | | | | | | |
| | ②さまざまな住様式 | | | | | | | | | | | |
| | 4 これからの住生活 | ①日本の住政策 | 1 | | ○ | | | | | | | |
| ②持続可能な住生活 | | | | | | | | | | | | |
| ③社会環境と住居 | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 第9章 経済生活を営む | 1 情報の収集・比較と意思決定 | ①消費生活と意思決定 | 1 | ○ | ○ | ● | 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解しているとともに、生活情報を適切に収集・整理できる。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しよう。〔ポートフォリオ〕 | | |
| | | | ②よりよい意思決定のために | | | | | | | | | |
| | | 2 購入・支払いのルールと方法 | ①購入と契約 | 1 | ○ | | | | | | | |
| | | 3 消費者の権利と責任 | クーリング・オフしてみよう | 2 | ○ | ● | | | | | | |
| | | | 4 生涯の経済生活を見通す | ①安定した経済生活を営む | 2 | ○ | | | | | ○ | |
| ②家計をマネジメントする | | | | | | | | | | | | |
| ③家計資産をマネジメントする | | | | | | | | | | | | |
| 5 これからの経済生活 | 家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりを理解す | 2 | ○ | ○ | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------|----------------|--|---|---|---|---|---|---|--|--|--|
| | | | | る | | | | | | | | |
| 3 | 第10章 持続可能な生活を営む | 1 持続可能な社会を目指して | ①大量消費社会の限界 ②これまでの世界と日本の取り組み ③一人一人の力で社会を動かす | 1 | ○ | ○ | ● | 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解しているとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 〔ふり返りシート〕 | | |
| | 第11章 これからの生活を創造する | 1 生活をデザインする | ①生活設計をする ②自立し共に生きるために ③これからの社会を創造する | 1 | ○ | ○ | ● | 生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解している。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 生涯を見通した自己の生活について課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 〔ワークシート・定期テスト〕 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 〔ポートフォリオ〕 | | |
| | 3学期定期テスト第8・9・10・11章 | | | | ● | ● | | | | | | |

